

令和5年度

事業報告書

(自) 令和5年4月1日

(至) 令和6年3月31日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

目 次

令和5年度事業概要	1 ページ
I. 社会福祉事業拠点区分	2 ページ
1 法人運営事業	
2 地域福祉活動事業	
3 共同募金配分金事業	
4 福祉サービス利用支援事業	
5 生活福祉資金貸付事業	
II. 施設経営事業拠点区分	18 ページ
1 老人福祉センター事業	
2 金立いこいの家事業	
III. 介護保険等事業拠点区分	19 ページ
1 通所介護事業	
IV. 認可外保育施設運営拠点区分	20 ページ
1 松梅保育所運営事業	
V. その他の事業	20 ページ
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	
2 日本赤十字社事業の推進	

令和5年度事業概要

少子高齢化や人口の減少とともに、地域や家族の機能のせい弱化が進むなか、多様化・複雑化している福祉・生活ニーズに対応するため、市内の小学校区すべてに校区（地区）社会福祉協議会の設置を目標にして、地域の各団体等と協議を重ねてまいりました。

その結果、2つの校区に新たに校区（地区）社会福祉協議会の設置いただくことができました。地域福祉の更なる推進に向け、協働して地域福祉を進めていく体制作りを構築することができました。

子育て支援については、新たに東与賀保健センターに拠点を設置し、子育て中の親子が気軽に集うことができる場の拡充を図ることで、より多くの子育て世帯の支援につなげることができました。

令和6年度から受託予定の生活支援体制整備事業については、生活支援コーディネーター等の適正な人員体制の整備及び佐賀市の担当課との情報交換、事務室の拡張を行い、円滑な事業実施に向け準備を行ってまいりました。

また、災害ボランティアセンター事業では、令和5年7月10日からの大雨により、被災された方々の生活再建を支援するため、佐賀市との協定に基づき災害ボランティアセンターを設置し、県内外のボランティアの協力を得ながら被災者の支援活動を行いました。

権利擁護に関する事業では、令和4年度から受託している佐賀市成年後見制度利用支援事業（佐賀市成年後見センター）において、成年後見制度への理解のため相談支援、広報・啓発活動などを積極的に行ってきた結果、相談数も着実に増加しており、成年後見制度の利用促進に貢献することができました。

また福祉サービス利用援助事業（あんしんサポート）についても、昨年同様、相談・問い合わせ件数が高い水準で経過しており、利用者の意思決定を尊重する丁寧な支援を行ってまいりました。

老人福祉センター事業については、施設や設備の老朽化に伴い故障等が多発している中、創意工夫をしながら利用者の利用促進に尽力してまいりました。

これからも地域住民の福祉を第一に掲げ、さらに関係機関との連携強化を図り、地域福祉の推進に取り組んでまいります。

I. 社会福祉事業拠点区分 (341,317,795 円)

1 法人運営事業 (130,511,042)

(1) 役員会開催状況

- ① 第1回理事会 令和5年6月5日 (出席12名 欠席1名) ※監事2名
 - 第1号議案 専決規程の一部改正について
 - 第2号議案 令和4年度事業報告並びに資金収支決算について
 - 第3号議案 役員(理事・監事)の選任候補者の推薦について
 - 第4号議案 評議員の補充選任候補者の推薦について
 - 第5号議案 評議員選任・解任委員会の招集について
 - 第6号議案 苦情解決第三者委員の選任について
 - 第7号議案 令和5年度定時評議員会の開催について
- ② 第2回理事会 令和5年6月30日 (出席10名 欠席3名) ※監事1名
 - 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について
 - 第2号議案 専決規程 別表第2 会長が指名する副会長の順序について
- ③ 第3回理事会 令和5年9月29日 (出席13名 欠席0名) ※監事2名
 - 第1号議案 第1回資金収支補正予算について
- ④ 第4回理事会 令和5年12月26日 (出席13名 欠席0名) ※監事2名
 - 第1号議案 第2回資金収支補正予算について
- ⑤ 第5回理事会 令和6年3月27日 (出席12名 欠席1名) ※監事2名
 - 第1号議案 令和5年度 第3回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 令和6年度 事業計画並びに資金収支予算について
 - 第3号議案 職員給与規程の一部改正について

(2) 評議員会開催状況

- ① 定時評議員会 令和5年6月30日 (出席23名、欠席2名)
 - 第1号議案 令和4年度事業報告並びに資金収支決算について
 - 第2号議案 役員(理事・監事)の選任について

(3) 評議員選任・解任委員会開催状況

- ① 第1回評議員選任・解任委員会 令和5年6月16日 (出席5名)
 - 第1号議案 評議員の選任について

(4) 監査状況

- ① 令和4年度事業・会計監査 令和5年5月23日

(5) 苦情の受付及び解決状況

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。

(6) 福祉バスの運行

本会の事業及び団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体・サロン等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスの運行を行った。

運行件数：220件

(7) 実習生の受け入れ

実習生の受け入れ

種 別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	2名	23～24日	西九州大学、九州医療専門学校
看護学科学生 老年看護基礎実習	25名	1日	佐賀県立医療センター好生館看護学院
介護等体験	8名	5日	佐賀大学・西九州大学・佐賀女子短期大学
介護福祉士	8名	5日	西九州大学短期大学部

(参考) R4 実績

種 別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	4名	23～24日	西九州大学、日本総合研究所、九州医療専門学校
看護学科学生 老年看護基礎実習	26名	1日	佐賀県立医療センター好生館
介護等体験	14名	5日	佐賀大学・西九州大学・佐賀女子短期大学
介護福祉士	18名	5日	西九州大学短期大学部

2 地域福祉活動事業 (134,897,528円)

(1) 企画・広報事業 (3,338,074円)

① 社会福祉大会の開催

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、社会福祉に功労のあった者を表彰し、社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

- ・期日：令和6年2月21日
- ・場所：佐賀県立生涯学習センター（アバンセ）
- ・参加者：約230名
- ・表彰者：福祉団体役職員5名、民生委員児童委員2名、ボランティア団体1団体、福祉協力員2名
- ・感謝状福祉事業資金等協力者：7団体、個人1名
- ・講演：テーマ「夢への実現と多くの人がかかわるすばらしさ」 講師 徳永義昭（佐賀市川副町）

② 社協だより“愛・あい”の発行

社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年3回（春・秋・新春号）市内全世帯及び事業所に配布した。

③ ホームページの運用

佐賀市社会福祉協議会の事業・活動を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため作成・公開した。

(2) 地域福祉活動計画推進策定事業 (37,497円)

策定推進委員会（第3回）を開催し、第4期地域福祉活動計画（令和3年～令和7年）の進捗状況を報告した。その中で重点事業となる「重層的支援体制整備」の現状を報告し、今後の地域福祉活動計画を推進していく中で、各委員より意見をいただくとともに、推進に向けての協議を行った。さらに、第5期地域福祉活動計画（令和8年～令和12年）の策定に向けて説明を行った。

(3) ボランティアセンター事業 (1,207,575円)

市民のボランティアに対する意識高揚と参加を促進するため、佐賀市ボランティア連絡協議会主催のリーダー研修会を計画・実施した。加えて、佐賀市ボランティア連絡協議会（登録8団体）の充実を図

るため、年5回（4月・6月・8月・10月・3月）の役員会を実施し、それぞれの団体に所属しているボランティア団体等に対して情報共有を図った。

研修内容：「佐賀市で想定される災害について」 参加者数：51名

① ボランティアセンター運営事業

- ・ボランティアコーディネート機能の強化
市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるため、インテークシートの作成・活用したボランティア活動のニーズの把握、調整に努めた。
- ・各ボランティア連絡（推進）協議会及びボランティア団体等との連携
各ボランティア連絡（推進）協議会やボランティア団体が開催する事業・定例会等への協力・連携を図った。ボランティア連絡協議会の事務局を担い、ボランティア団体リーダーの育成を目的として、研修交流会の開催を支援した。
- ・ボランティア活動保険の活用促進
登録団体のボランティアが安心して活動に取り組めるよう、ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険に関する情報提供を行うとともに、保険加入や事故受付事務を行った。
加入受付：151団体、3,290名 事故申請：4件

② ボランティア団体等助成事業

- ・ボランティア活動（団体、連絡協議会等）の助成
佐賀市を拠点に社会福祉事業を行っているボランティア団体等に対して、活動に要する経費の一部を助成した。

ボランティア団体：35団体

	件数	助成金額計（円）
本所	17	340,000
諸富	6	120,000
大和	1	20,000
富士	5	100,000
三瀬	2	40,000
川副	2	40,000
東与賀	1	20,000
久保田	1	20,000
合計	35	700,000

ボランティア連絡[推進]協議会：7団体（334,971円）

③ 災害ボランティアセンター事業（4,671,614円）

発災時、市民から復旧・復興活動が求められた場合に備え、速やかに活動の拠点となる災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者へのボランティア支援を行えるよう関係機関との連携を図った。

- ・令和5年度からは、内閣府が進める三者連携体（行政・NPO・ボランティア）の構築に向け、佐賀市協働推進課、佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）との会議を開催した。
- ・佐賀市災害ボランティアセンター運営訓練（職員向け）
期日：令和5年7月8日（土）
会場：ほほえみ館 1階 きらきら学習室
参加者：職員27名、県社協1名、佐賀市協働推進課4名、SPF等3名
- ・佐賀市災害ボランティアセンター立ち上げ
災害ボランティアセンターで募ったボランティアを佐賀市内で被災された世帯へ派遣し生活再建に向けた活動を行った。
期日：令和5年7月12日～11月30日
ニーズ件数：延27件
ボランティア数：387名

(4) 高齢者ふれあいサロン事業 (23,087,728円) ※佐賀市委託

高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるように、地域住民の協力により地域の様々な施設（地区公民館、集会所等）を利用し、高齢者や地域住民が気軽に集い、お互いに交流を深め、生きがいづくりや健康づくりを推進し、高齢者が閉じこもりや寝たきりにならないよう、自立生活の助長を図ることを目的に実施されるサロンに対し運営費の助成、また、併せてサロン設立や運営の支援等を行った。

令和5年度においては、ここ数年のコロナ禍を経て、協力者の高齢化がさらに進み、数年、サロンを廃止する数が二桁の状態が続いている。一方で、新たにサロンを開設してくれる地区も増えており、サロン活動が継続できるよう支援を続けていく方針である。

令和5年度 新規3ヶ所 廃止15ヶ所 (令和4年度 新規1ヶ所 廃止7ヶ所)

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額(円)
勸興	3	29	558	230,000
循誘	12	150	2,446	940,000
日新	7	78	1,439	540,000
赤松	3	43	635	220,000
神野	12	124	2,540	950,000
西与賀	11	159	2,429	829,996
嘉瀬	5	58	743	315,000
巨勢	5	68	1,203	400,000
兵庫	12	129	1,726	854,777
高木瀬	9	148	4,155	780,000
北川副	11	182	2,751	850,000
本庄	8	127	2,049	659,912
鍋島	5	140	1,643	370,000
金立	6	171	2,024	490,000
久保泉	2	21	483	160,000
蓮池	3	32	466	220,000
新栄	10	454	6,131	870,000
若楠	2	18	280	120,000
開成	7	165	2,894	560,000
諸富	14	240	4,063	1,166,140
春日	4	96	1,250	299,271
春日北	2	23	390	138,457
川上	12	442	5,633	865,000
松梅	2	20	363	210,000
富士	6	71	1,023	440,000
三瀬	6	63	732	420,000
南川副	10	113	1,552	698,830
西川副	5	99	1,102	400,000
中川副	6	78	903	230,000
大詫間	3	35	803	410,000
東与賀	4	45	773	310,000
久保田	10	188	2,554	770,000
合計	217	3,809	57,736	16,717,383
令和4年度実績	221	3,828	57,009	16,878,222

(5) 地域子育て支援センター事業 (23,489,000円)

北部の拠点として大和、出張ひろばとして富士に、南部の拠点として東与賀、出張ひろばとして諸富に広場を設け子育て中の親子が気軽に集うことができる広場を身近な地域に設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちの支援を行った。

① 子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

・交流の場の提供

子育て親子が自由に利用できる交流の場を設置した。

広場名	開館 日数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)	実利用者数	
					乳幼児	保護者
大和ふれあい広場 (拠点)	240	2,701	2,426	169	224	218
富士ふれあい広場 (出張広場)	99	430	378	81	64	61
東与賀ふれあい広場 (拠点)	240	2,081	1,687	14	193	172
諸富ふれあい広場 (出張広場)	87	610	553	85	96	82

・交流の促進

地域のボランティアグループの協力により、「子育てサロン」を実施し、子育て親子や地域の方との世代間交流を図った。

サロン開催場所	実施回数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
大和ふれあい広場 (拠点)	24	186	170	20
富士ふれあい広場 (出張広場)	20	105	88	61
東与賀ふれあい広場 (拠点)	6	54	46	0

② 子育て等に関する相談、援助の実施

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発育相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

(単位：件)

	相談内容別					形態別			合計
	育児	就園	親の問題	家族	地域	来所	電話	グループ 相談	
大和	161	39	16	3	25	151	1	92	244
富士	3	1	0	1	0	5	0	0	5
東与賀	46	15	3	2	4	64	0	6	70
諸富	9	2	0	1	3	15	0	0	15

③ 地域の子育て関連情報の提供

子育てに関する情報や支援センターのイベント等を紹介する情報紙スマイルファミリー（発行月 4月、6月、8月、10月、12月、2月）を発行し、各校区公民館、児童センター、行政、市立図書館等に情報提供を行った。併せて市報等にも各広場で実施しているサロンや行事等の情報提供を行った。
・ふれあい広場の専属インスタグラムを作成し、ほぼ毎日広場やサロンの様子やサロンの情報などを発信し、情報提供に努めた。

④ 子育て及び子育て支援に関する講習等

子育て中の保護者を対象に、子どもの足を守るための足育講座、歯科講座、児童虐待防止講座を実施した。

【大和】

開催日	講座内容	募集組数	乳幼児数	保護者数
令和5年9月11日	歯科講座～歯並びと離乳食～	8組	6	6
令和5年10月18日	子どもの足を守るための足育講座	10組	11	10
令和5年11月30日	児童虐待防止講座	15組	13	11
令和6年1月15日	歯科講座～仕上げ磨き～	8組	8	7

【東与賀】

開催日	講座内容	募集組数	乳幼児数	保護者数
令和5年11月13日	歯科講座～歯並び～	10組	12	10
令和5年11月30日	児童虐待防止講座	15組	6	4

⑤ サークル支援の実施（北部：24回）（南部：39回）

地域にある施設等に出向き地域の子育てサークルの活動の支援や地域のサークルの活動の場として広場を提供し、地域と密着した交流を図る。

⑥ 地域支援の一環として、出張サロンをおこなった。

開催場所（内容）	実施回数	乳幼児数 （延人数）	保護者数 （延人数）
三瀬（親子ふれあい遊びと製作）	4	21	18
久保田（親子ふれあい遊びと製作）	2	11	9
大詫間（親子ふれあい遊びと製作）	1	4	3
南川副（親子ふれあい遊びと製作）	1	11	9
中川副（親子ふれあい遊びと製作）	1	11	10

(6) 多機関協働事業（重層的支援体制整備事業）（19,833,213円）※佐賀市委託
福祉まるごと相談窓口（佐賀市役所1階14番窓口）に専任の相談支援包括化推進員を2名配置し、高齢・障がい・子ども・生活困窮など各分野の相談支援機関だけでは、対応が困難な複雑化・複合化した課題を抱える世帯（人）の相談に応じ、分野を超えた相談支援機関等のネットワークを活用し支援につなげた。

◆相談件数

	延べ相談件数	新規相談
R5年度	1,159件	539人
R4年度	963件	559人

◆相談者（新規相談539件中）

（単位：件）

本人、配偶者、親、子、親族	246
地域（民生児童委員、自治会、近隣住民、友人など）	39
関係機関（市社会福祉協議会（CSW・貸付）、市自立生活支援センター、家計見直し相談室、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、就労支援事業所、スクールソーシャルワーカー、地域若者サポートステーション、ハローワーク、医療機関、中部保健福祉事務所、法テラス、警察など）	62
佐賀市役所内（建設部、環境部、市民生活部、保健福祉部、子育て支援部など）	192

◆調整先機関（他の相談支援機関につないだ352件中）

（単位：件）

本人、配偶者、親、子、親族	10
地域（民生児童委員、自治会、近隣住民、友人など）	7
関係機関（市社会福祉協議会（CSW・貸付・成年後見中核機関）、市自立生活支援センター、家計見直し相談室、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、県精神保健福祉センター、スクールソーシャルワーカー、ひとり親支援団体、地域若者サポートステーション、県ひきこもり支援センター、ハローワーク、医療機関、中部保健福祉事務所、法テラス、警察、県社会福祉士会、居住支援法人、公営住宅管理団体、不動産会社など）	167
佐賀市役所内（建設部、環境部、市民生活部、保健福祉部、子育て支援部など）	168

◆会議

支援会議	8回 （実7ケース）
情報共有会議	16回 （実13ケース） ※うち主催14回

(7) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（重層的支援体制整備事業）（36,808,733円）※佐賀市委託
市内32校区を北部、中部、南部の3つのエリアに分け、各エリアリーダーを中心に11人の地域担当（CSW）によるアウトリーチと伴走型の個別支援を実施した。エリア毎に常に情報を共有に努め、地域での会議や行事などにも積極的に参画した。また、関係機関等との情報共有に努め、地域住民と協力しながら地域課題の早期発見や解決に努めた。

<個別支援>

◆支援件数

	延べ支援件数	新規相談
R 5 年度	2,678 件	196 件
R 4 年度	3,631 件	110 件

◆相談内容

(単位：件)

内容	件数	内容	件数
病気や健康、障がいのこと	47	住まいについて	32
収入・生活費のこと	50	家賃やローンの支払いのこと	9
税金や公共料金等の支払いのこと	13	債務について	14
仕事探し、就職について	19	仕事上の不安やトラブル	3
地域との関係について	12	家族との関係について	21
子育てについて	2	介護について	14
ひきこもり・不登校	17	DV・虐待	5
食べるものがない	13	その他	9

◆連携機関

地域	自治会、民生児童委員、知人友人、近隣住民など
関係機関	佐賀市役所、地域包括支援センター、高齢者関係事務所、障がい者関係事業所、子ども関係事業所、佐賀市生活自立支援センター、佐賀中部保健所、医療機関、成年後見人、警察、フードバンク、居住支援法人、ハローワークなど

<地域支援>

◆延べ支援件数 2,671 件

◆新たな仕組みづくり支援

地域が自らの校区（地区）に新しいしくみづくりを進める際に、地域担当（CSW）として支援した。

校区社協設立	2 校区	春日、松梅
高齢者サロン開設	1 件	川上
コミュニティカフェ開設	6 件	北川副 2、本庄 3、鍋島 1

(8) 参加支援事業（重層的支援体制整備事業）(9,681,104 円) ※佐賀市委託

従来の地域力強化推進事業の拡充のため、交流の場づくりから就労・居住支援など、対象者のニーズや課題を把握し、支援計画を基に地域の社会資源を活用しながら継続的な支援を展開した。また、制度にないサービスが必要であれば、地域の特性を生かした新たな社会資源を地域住民と協働しながら創りだしていくなど、その人らしい生活を目指し、伴走型支援を行っていくことに努めた。

◆支援件数

	延べ支援件数	うち新規相談
R 5 年度	37 件	2 件
R 4 年度	97 件	6 件

◆連携機関

地域	自治会、民生児童委員
関係機関	佐賀市役所、障がい者関係事業所、佐賀市生活自立支援センターなど

(9) 地域福祉活動推進事業（12,742,990 円）

① 各福祉団体助成（2,406,000 円）

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

◆運営費助成（8 団体）…佐賀市遺族連合会、佐賀市原爆被害者の会、佐賀市視覚障害者福祉協会、佐賀市肢体不自由児・者父母の会、佐賀市身体障害者福祉協会連合会、佐賀市母子寡婦福祉連合会、佐賀市老人クラブ連合会、佐賀市校区（地区）社会福祉協議会会長会

◆事業助成

佐賀市自治会協議会研修費（佐賀市自治会協議会）

佐賀心理リハビリテーション訓練会（佐賀若楠ふたばの会）

② 民生委員・児童委員活動・研修支援事業

毎月開催される市民児協役員会及び会長会、地区民児協定例会に参加し、住民の福祉の向上のため地域福祉活動の推進を日々行っている民生委員児童委員の活動に対し支援・協力を行った。

③ 校区（地区）社協役員研修会

研修日：令和6年1月17日

研修場所：福岡市西区周船寺社会福祉協議会

参加人員：36名

研修内容：周船寺校区社会福祉協議会における見守り活動について

エリア別研修会の開催

1) 北エリア（7校区）

【1回目】日時：令和5年7月18日

内容：佐賀県出前講座「家庭・学校・地域連携の支援体制づくり」

【2回目】日時：令和6年2月16日

内容：地域の見守り活動の現状について（情報共有・意見交換会）

2) 中エリア（11校区）

【1回目】日時：令和5年7月31日

内容：意見交換会「地域の課題や活動の中でなかなか進まないこと等を各校区（地区）での発表（グループワーク）」

【2回目】日時：令和6年2月2日

内容：講演会「認知症家族の体験談について」

3) 南エリア（11校区）

【1回目】日時：令和5年7月28日

内容：講演会「災害の備え～誰も逃げ遅れや犠牲者を出さないために～」

【2回目】日時：令和6年2月15日

内容：令和5年度の重点事業の振り返り及び令和6年度に向けて（グループワーク）

④ 校区（地区）社協活動助成

助成額 7,550,000 円（250,000×29 校区社協・150,000×2 校区社協。うち共募配分 4,450,000 円）

◆校区（地区）社会福祉協議会役員会・会長会の開催

校区（地区）社会福祉協議会相互の連携や調整を図るなど、校区（地区）社協の活動推進及び支援を行った。新たに令和5年度、春日校区社協・松梅校区社協が加わった。全31校区。

◆役員会（5回）会長会（5回）

⑤ 「助け合い・支え合い」の地域づくり推進事業（2,400,000 円）

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内30の校区（地区）社会福祉協議会に対し協働で地域づくりに対しての支援と協力を行った。

⑥ 福祉協力員等設置推進支援事業（2,116,003 円）

・福祉協力員等設置推進支援事業

地域の実状に応じた福祉協力員の設置に向けた取り組みについて支援を行った。R5 年度実績1校区減は神野校区で、ボランティア1名による福祉協力員をされていたが、その方が辞められた為、

減少となる。

	R3 年度	R4 年度	R5 年度
福祉協力員数	2,278 名	2,542 名	2,583 名
地区数	23 校区	24 校区	23 校区

⑦ 小災害罹災世帯に対する見舞

・小災害罹災世帯に対する見舞

災害により罹災者が物的・精神的な援護が必要な状況において、自力更生の一時的な援助を図るため見舞金及び見舞品を支給した。

	発生件数	罹災世帯数	罹災人数	見舞金（円）
火 災	5 件	9 世帯	14 人	180,000

⑧ コロナ禍で行われる生活支援活動助成事業（402,000 円）

企業から福祉団体等が実施する課題解決事業を財源面から応援する想いで、ご寄付をいただいた寄付金を財源に実施した。経済的に困窮する世帯、電気・ガス等が止められた世帯等に、支援の目途が立つまでの間、食料等を提供した。

・生活困窮者への緊急支援活動助成事業（401,277 円）

個人・企業から寄せられた共同募金を財源として、社会福祉協議会において生活にお困りの方へ、緊急的に活用できる食料や日用品の配布、アウトリーチ支援するために実施した。本会で食料品の購入と食料を保管管理するための備品を購入した。

また、必要に応じフードバンク、生活困窮自立支援センター、市生活福祉課、地域包括支援センター等とも連携しながら支援を行った。

	令和 5 年度	令和 4 年度（共同募金配分金事業）
食料等支援件数	91 世帯	70 世帯
支援人数	53 名	29 名
支援人数（延べ）	155 名	137 名

3 共同募金配分金事業（17,495,848 円）

(1)（歳末配分）共同募金配分金事業 歳末助け合い配分事業（6,195,871 円）

前年度、運動期間中（12月1日から1ヶ月間）に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。

① 年末年始地域福祉事業

各校区社会福祉協議会等が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸 興	一人暮らし高齢者へ年賀状、世代間交流事業（しめ縄づくり、もぐらうち、ほんげんきょう）、地域福祉交流祭、高齢者世帯ふれあいの集い	130,000
循 誘	もうすぐ正月祭（しめ縄・門松・干支置物作り）	215,000
日 新	世代間交流事業（ライトファンタジー）、しめ縄・ミニ門松作り	288,000
赤 松	一人暮らし高齢者年賀状作成・配布、高齢者へ餅つき・赤飯配布、世代間交流事業	314,000
神 野	一人暮らし高齢者交流会・料理教室、一人暮らし高齢者クリスマスプレゼント、男性健康維持研修会、ふれあいサロニスタ研修会、しめ縄作り	313,000
西与賀	世代間交流事業（一人暮らし高齢者へしめ縄配布）、一人暮らし高齢者交流会食会	204,000
嘉 瀬	しめ縄づくり指導者講習会、一人暮らし高齢者へしめ縄訪問配布、高齢者世帯年賀状作成配布、世代間交流会（餅つき、ふれあいの集い）	157,000

巨 勢	世代間交流事業（グランドゴルフ大会）、親子ミニ門松づくり教室	87,000
兵 庫	友愛年賀状配布、一人暮らし高齢者クリスマスプレゼント、放課後児童クラブとの交流会	180,000
高木瀬	独居高齢者へクリスマスプレゼント、三世代交流事業、高齢者と児童交流（しめ縄づくり他）	394,000
北川副	共に支え合う地域福祉の研修会、児童と高齢者のしめ縄づくり、友愛年賀状事業、健康マージャン教室・大会	314,000
本 庄	一人暮らし高齢者へ年賀状、世代間交流事業（イルミネーション作り）	251,000
鍋 島	鍋中1年生支援による独居高齢者への年賀状配布、鍋島小親子交流会、世代間交流事業（ボッチャ大会・グランドゴルフ大会、イルミネーション作り）	263,000
金 立	一人暮らし高齢者ふれあいの集い	103,000
久保泉	世代間交流事業（ほんげんきょう・餅つき大会）	68,000
蓮 池	親子ふれあい子ども冬まつり	59,000
新 栄	世代間交流事業（ふれあいグランドゴルフ大会、年末福祉交流餅つき大会、ほんげんきょう、クリスマスイルミネーション作り）	203,000
若 楠	世代間交流事業（ほんげんきょう）、校区新年交流会、高齢者世帯等年末年始福祉交流事業	284,000
開 成	一人暮らし高齢者へ年賀状配布・訪問交流事業、三世代交流事業	200,000
諸 富	世代間交流事業（餅つき・鏡餅配布）、子育てひろば事業	284,000
春 日	高齢者訪問安否確認事業	180,000
春日北	高齢者訪問安否確認事業	221,000
川 上	世代間ふれあい交流会	143,000
松 梅	高齢者ふれあい交流会食会、松梅中学3年激励餅つき会	36,000
富 士	高齢者世帯安否確認及び餅配布、富士中との菓研お屠蘇作り	118,000
三 瀬	世代間交流事業（メッセージカード作成・お屠蘇作り）	60,000
南川副	小学生と高齢者とのふれあい交流会	147,000
西川副	児童と一人暮らし高齢者のふれあい交流会（カレンダー作成配布）	144,000
中川副	ふれあい親子クラフト活動	82,000
大詫間	ふれあい餅つき交流会	44,000
東与賀	高齢者ふれあい交流会食会、餅つき会、しめ縄作り教室	236,000
久保田	絵手紙カレンダー作成、世代間交流事業（しめ縄づくり・思斉の郷まつり）	216,000
	歳末助け合い配分事業事務費	257,871
合 計		6,195,871

(2) 共同募金配分金事業（11,299,977円）

佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金事業として地域福祉推進事業や地域テーマ事業の福祉のまちづくり支援事業を行った。

[全事業]

事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)
①校区（地区）社会福祉協議会運営費助成	4,450,000	4,450,000
②在宅高齢者等会食会・訪問交流事業	1,147,592	1,125,900
③自治公民館備品整備助成事業	2,027,088	1,996,000
④福祉のまちづくり支援助成事業	1,177,290	1,173,000
⑤地域応援研修会	144,590	144,590
⑥社協だより発行	750,000	550,000
⑦新たな居場所づくり（コミュニティカフェ）	392,989	387,819
⑧福祉の体験学習指導者派遣事業	523,400	522,210
⑨児童遊園地整備助成事業	687,028	674,043
合 計	11,299,977	11,023,562

※事業額と配分金充当額の差額は法人運営事業から繰り入れ

① 校区社協活動費助成

② 在宅高齢者等会食会・訪問交流事業

地域の高齢者が公民館等で会食の機会を通して、地域の見守りのための「気づき・実践の場」となることを目的に、地区社協、地区民協等が行う会食会・訪問交流に対し助成を行った。

地区名	実施団体	開催数		参加者数			助成額 (円)
		訪問	会食会	訪問交流	会食会		
					参加者	ボラン ティア	
勸興	勸興校区社協	-	2	-	131	34	49,500
循誘	循誘校区社協	-	2	-	145	57	60,600
日新	日新校区社協	-	4	-	218	149	110,100
赤松	赤松校区社協	1	-	412	-	-	61,800
巨勢	ボランティア巨勢		6	-	105	86	57,300
兵庫	兵庫校区社協	-	1	-	47	18	19,500
高木瀬	高木瀬校区民児協	-	1	-	84	48	39,600
	ボランティア高木瀬		1		71	29	30,000
北川副	ボランティア北川副	-	12	-	307	141	134,400
	北川副校区社協	1	-	273	-	-	40,950
				1		256	14
本庄	本庄校区社協	-	1	-	61	61	36,600
鍋島	ボランティア鍋島	1	-	306	-	-	45,900
			3		80	54	40,200
蓮池	蓮池校区社協	-	2	-	38	32	21,000
新栄	新栄ボランティア	2	-	435	-	-	65,250
若楠	ボランティア若楠	-	1	-	63	31	28,200
開成	開成ボランティアひまわり	2	-	680	-	-	102,000
			2		125	40	49,500
南川副	南川副校区社協	-	1	-	15	15	9,000
中川副	中川副校区社協	-	1	-	21	21	12,600
西川副	西川副校区社協	-	1	-	27	27	16,200
大詫間	大詫間校区社協	-	1	-	30	19	14,700
合計		7	43	2,106	1,824	876	1,125,900

③ 自治公民館備品整備助成事業

地域住民の活動拠点である自治公民館の備品整備に対する助成を行うことにより、地域における福祉活動の推進を図るとともに、共同募金への理解を促進する。

校 区	申請団体	整備備品	事業総額(円)	配分額(円)
勸 興	平島区自治会	ロールカーテン	42,130	33,000
循 誘	東田代南自治会	座椅子	34,800	27,000
日 新	長瀬町自治会	手すり	80,454	50,000
	多布施三丁目自治会	椅子	41,700	33,000
赤 松	新道自治会	手すり	47,694	38,000
	与賀町自治会	掃除機	21,492	17,000
神 野	草場区自治会	冷蔵庫	163,680	50,000
西与賀	厘外西自治会	テレビ	345,000	50,000
嘉 瀬	嘉瀬津自治会	エアコン	226,820	50,000
巨 勢	高尾団地自治会	エアコン	170,500	50,000
兵 庫	土井自治会	カーテン	79,765	50,000
高木瀬	小里区自治会	テレビ	166,000	50,000
	上高木自治会	高机	75,141	50,000
北川副	八田本村自治会	冷蔵庫	192,610	50,000
	下武自治会	机・椅子	124,047	50,000
	阿高自治会	机・椅子	71,540	50,000
本 庄	佐大前自治会	カーテン	293,960	50,000
鍋 島	蛸久自治会	冷蔵庫	193,800	50,000
金 立	西千布自治会	椅子	59,950	47,000
	開拓自治会	掃除機	42,900	34,000
久保泉	上分三自治会	椅子	64,800	50,000
	町分一自治会	手すり	110,000	50,000
若 楠	若宮自治会	手すり	99,000	50,000
諸 富	太田自治会	手すり	80,850	50,000
	諸富自治会	ホワイドボード	57,530	46,000
春 日	五領自治会	冷蔵庫	111,760	50,000
春日北	北原三区自治会	冷蔵庫	56,760	45,000
	北原四区自治会	椅子	65,670	50,000
川 上	上戸田自治会	エアコン	418,000	50,000
	平野自治会	椅子	61,640	49,000
	川上自治会	テーブル・椅子	347,743	50,000
松 梅	尾形所自治会	掃除機	42,669	34,000
富 士	上無津呂自治会	ストーブ	132,000	50,000
	下関屋自治会	椅子	65,780	50,000
	下合瀬自治会	テーブル	73,832	50,000
南川副	南12区自治会	掃除機	46,800	37,000
西川副	鰯江自治会	エアコン	321,000	50,000
	道免自治会	座椅子	49,280	39,000
中川副	福富自治会	エアコン	485,122	50,000
	南早自治会	椅子・掃除機	53,880	43,000
東与賀	今町西自治会	座椅子	44,800	35,000
久保田	麦新ヶ江自治会	高机	49,900	39,000
	中副自治会	エアコン	720,000	50,000
	大立野東自治会	エアコン	231,000	50,000
配分事務費			31,088	
合 計			6,294,887	1,996,000

④ 福祉のまちづくり支援事業助成

申請団体	事業内容	事業総額(円)	配分額(円)
赤松校区社会福祉協議会	赤松ふれあいの居場所づくり	310,686	240,000
巨勢校区社会福祉協議会	地域見守り幟旗作成	161,590	129,000
北川副校区自治会長会	こどもの安全・防災マップ作成	398,200	240,000
若楠校区自治会長会	水害防災マップ作成	172,920	138,000
諸富地区社会福祉協議会	高齢者等見守り活動ポスター作成	305,856	240,000
東与賀校区社会福祉協議会	感染症予防非接触型体温計整備	114,400	91,000
久保田校区自治会長会	安全パトロール隊帽子整備・掲示板作成	119,460	95,000
	配分事務費	4,290	
合 計		1,587,402	1,173,000

⑤ 地域応援研修会

「地域共生社会の実現」に向け、顔の見える関係づくりや見守り活動など、地域でさまざまな取り組みが行われ、市社協としても校区（地区）社会福祉協議会の地域福祉活動を支援するなど、住み慣れた地域で、安心安全に暮らせる地域づくりを目指し、全世代型の「居場所づくり」を推進しており、地域の関係者に趣旨を説明するとともに、今後の展望等に役立てるための研修会を開催した。

期 日 令和5年12月20日（水）

参加者 136名

内 容 「地域の居場所づくりを通して」

- ・地域の居場所づくりについて
- ・コミュニティカフェ運営者へのアンケート集計結果について
- ・事例発表

⑥ 社協だより発行（再掲）

⑦ 福祉体験学習指導者派遣事業

・福祉体験学習指導者派遣事業

地域、企業、学校等で開催される福祉総合学習（車椅子介助、アイマスク体験、高齢者疑似体験等）に指導者（クローバーの会）を派遣し、福祉教育の推進を図った。

種別	講座数 (回)	派遣先（合計 16件）		
アイマスク	36	【小学校】 ・勸興 ・日新 ・嘉瀬 ・高木瀬 ・北川副 ・三瀬 ・諸富北 ・若楠 ・新栄 ・開成 ・諸富南 ・春日 ・東与賀 ・川上	【中学校】 ・城南	【企業・地域団体】 ・NPO 法人セルフ ※ボランティア団体
高齢者疑似体験	39			
車椅子体験	37			
合計	112			

⑧ 児童遊園地整備助成

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市とともに助成金を交付した。

校 区	設置数(件)	助成額(円)	校 区	設置数(件)	助成額(円)
日新	1	24,400	諸富	3	92,600
西与賀	2	83,100	西川副	1	93,100
高木瀬	1	21,400	東与賀	2	75,800
本庄	1	43,200	久保田	1	100,000
鍋島	2	144,500	合 計	14	678,100

⑨ 新たな居場所づくり事業（コミュニティカフェ）

地域の繋がりを再構築していくために、誰もが集える居場所づくり（コミュニティカフェ）の推進を

図った。

	R5年度	R4年度	R3年度
カフェ設置数	40カ所 (14校区)	34カ所 (14校区)	30カ所 (14校区)
(うち新規)	6カ所	4カ所	2カ所

⑩ 地域の助け合い応援プロジェクト

4 福祉サービス利用支援事業 (30,433,301円)

① 福祉サービス利用援助事業 (日常生活自立支援事業) (10,671,428円) ※県社協委託

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者の方で、判断能力は不十分であるが、安心して自立した生活を送れるために、福祉サービスの利用に関する相談や金銭管理等の支援を実施した。

◆相談、新規契約・解約件数 (令和5年3月末現在) (単位: 件)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
R5年度 相談・問合せ	1,315	1,894	2,344	190	5,743
4年度	1,608	1,687	1,804	80	5,179
R5年度 新規契約	6	2	6	0	14
4年度	1	2	3	0	6
R5年度 解約	7	3	3	1	14
4年度	16	7	4	0	27

◆契約者数 (令和5年3月末現在) (単位: 人)

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	延支援件数 (件/年)
R5年度	29	39	36	0	104	1,798
4年度	30	40	33	1	104	2,101

※実績件数については本所・北連絡所・南連絡所のすべてを含む

② 法人後見事業 (5,568,351円)

法人(成年)後見人等として、身上保護や財産管理などの生活全般を継続的かつ長期的に支援し、被後見人等の権利擁護並びに意思決定支援を重視し、関係機関と連携・調整を行いながら後見業務を実施した。

◆受任件数

	受任件数	類型内訳 (市長申立)			新規	終了
		後見	保佐	補助		
令和5年度	29件	16件 (14件)	12件 (2件)	1件 (0件)	2件	2件
4年度	29件	15件 (12件)	13件 (2件)	1件 (0件)	8件	4件

◆福祉サービス利用援助事業から法人後見事業への移行ケース数

令和5年度	2件
4年度	8件

◆支援内容

令和5年度 支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訪問 ・日常生活に係る料金、利用料の支払い ・各福祉サービスの利用契約 ・障害者手帳、自立支援医療更新手続き ・給付金申請 ・保険解約・更新 ・生活保護の申請 ・不動産の名義変更手続き ・資産の譲渡契約 ・相続承認、放棄手続き ・後見等終了後の親族、関係者への引継ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ・突発的な対処のための訪問 ・預金の代行取引手続き ・施設、病院等の利用契約 ・福祉、医療関係機関との調整会議 ・特別弔慰金申請 ・定期口座の解約 ・確定申告 ・不動産売却 ・住所変更手続き ・代理権付与の申立て 等
---------------	--	--

- ③ 佐賀市成年後見制度利用促進事業（佐賀市成年後見センター）（13,970,000円）※佐賀市委託
佐賀市から委託を受け、成年後見制度への理解、また、制度利用が必要な方の早期発見につながるために、相談支援、広報・啓発活動などをおこなった。併せて定期的に運営委員会を開催し、さらに、受任者推薦会議を開催し適切な後見人の推薦などを実施し、成年後見制度の利用促進に向け協議を継続していった。

◆相談者内訳

相談者内訳	件数
本人	20
同居家族	27
別居家族	101
民生委員	6
地域包括支援センター	32
行政	30
施設	13
病院	37
介護保険事業所	13
障がい者サービス支援事業所	12
親族後見人	1
その他	36
合計	328件

◆相談内容

相談内容	件数
本会の法人後見事業に関する利用方法に関すること	7
成年後見制度の一般的な内容のこと	125
申立てや受任に関すること	123
任意後見に関すること	22
財産管理に関すること	6
相続・遺言に関すること	2
不動産処分に関すること	1
市民後見人に関すること	0
成年後見制度等に関する研修会・勉強会に関すること	15
親族後見に関すること	4
その他	23
合計	328件

地域における権利擁護に関する研修会の開催

研修内訳		回数	参加人数
高齢者サロン・高齢者サークル12ヶ所、老人センター文化講座4ヶ所	5年度	35回	661人
公民館講座2ヶ所、校区社協・まち協研修会3ヶ所、ボランティア団体研修会2か所、不動産会社1ヶ所、障害者施設保護者会1ヶ所			
地域包括支援センター主催の会議3ヶ所、民生委員児童委員協議会研修会2か所、障害者施設職員研修1ヶ所、佐賀市主催研修会3ヶ所、医療法人職員研修1ヶ所	4年度	12回	295人

◆成年後見制度に関するアンケートの実施

「地域における権利擁護に関する研修会」開催時にアンケートを実施し、地域住民対象と専門職対象に分け、市民後見活動の必要性の周知、制度に関する意識などを調査した。

回答数 598名

◆佐賀市成年後見センター運営委員会の開催（計5回）

佐賀市成年後見センターでの公正中立な運営及び、司法・医療・福祉を含めた地域連携ネットワークの構築を図るため、運営委員会を年5回開催した。

運営委員会 メンバー	弁護士、司法書士、社会福祉士、公証役場、地域包括支援センター、障がい者支援センター (オブザーバー) 佐賀家庭裁判所、佐賀県
---------------	---

開催数	協議内容
第1回運営委員会	①権利擁護支援チームに対するセンターの役割について
第2回運営委員会	①地域連携ネットワークの機能と参画団体等について
第3回運営委員会	①これまでの協議内容についての方向性の確認 ・後見人支援について ・地域連携ネットワークについて
第4回運営委員会	①これまでの協議内容についての方向性の確認（第3回からの継続協議） ・後見人支援について ・地域連携ネットワークについて
第5回運営委員会	①令和6年度事業計画（案）について

◆受任者推薦会議の開催

市長申立事案について、対象者の意思を尊重するために面接を実施し意思確認に努めた。会議では、状況等により、各委員からの意見をもとに最も適した後見人等候補者を推薦していった。

開催数	ケース数	内訳
8回	15件	認知症高齢者：14件 知的障がい：0件 精神障がい：1件

④移送サービス事業（223,522円）

既存の交通機関による移動が困難な車椅子利用の高齢者（要介護1以上）や身体障がい者（身体障がい者手帳所持者）を対象に、ボランティアの協力のもと、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスを提供した。（利用対象地域：三瀬村、富士町、大和町松梅地区）

令和5年度の利用者減に伴い、今後の事業の在り方について検討し、実施要項の改定を行った。

令和6年度より対象者は、身体障がい者手帳を所持する身体障がい者、または、要支援2以上の高齢者で、歩行補助具（杖、押し車等）が必要な方となり、より幅広い対象者が利用可能となっている。

利用登録者：7名 利用回数：延25回 運転ボランティア：7名

※R4 利用登録者：7名 利用回数：延51回 運転ボランティア：7名

5 生活福祉資金貸付事業（27,980,076円）

① 生活福祉資金貸付事業（24,328,000円）

金融機関からの借入れや公的貸付制度の利用が困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の属する世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。また、貸付に結びつかなかった世帯に対して、関係機関へ繋ぐことで切れ目のない支援を行った。

対象世帯・・・低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業中の世帯等

資金種類・・・生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）

（単位：件）

	生活福祉資金	臨時特例 つなぎ資金	コロナ特例 貸付	合計	内訳
相談等件数 令和5年度	409	1	318	728	総合12件、福祉84件、不動産3件 緊急96件、教育73件、その他141件
4年度	218	1	1,148	1,367	総合14件、福祉48件、不動産2件 緊急48件、教育28件、その他78件
貸付件数 令和5年度	15	0	0	15	福祉2件、緊急10件、教育3件
4年度	9	0	277	286	福祉2件、不動産1件、緊急5件 教育1件

※相談件数については一人の相談者から複数回の相談を受けているため延べ数での報告となっている。

※貸付に至らなかったケースについては、今後の生活支援をしていくうえで関係機関等に情報提供し連携を図った・・・佐賀市生活自立支援センター、地域包括支援センター、社協内地域担当（CSW）、佐賀市役所（生活福祉課・こども家庭課）他

② 福祉資金（小口）貸付事業（3,652,076円）

低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に3万円を上限として貸し付けを行った。

件数（件）		金額（円）	
相談等件数	令和5年度	125	
	4年度	107	
貸付件数	令和5年度	138	3,569,399
	4年度	113	2,880,231
償還件数	令和5年度	147	3,714,918
	4年度	115	2,709,712

※1件の相談で複数の貸付を行うこともあるため、相談件数よりも貸付件数が多くなっている。

※貸付と償還の件数差は、1件の貸付に対し、最長6回までの償還回数となる場合があるため償還回数が多くなるとがある。

II. 施設経営事業拠点区分（86,551,884円）

1 老人福祉センター事業（71,105,569円）

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所（平松、巨勢、金立、開成、大和）の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている、また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための事業の推進に努めた。

① 平松老人福祉センター（いきがい館平松）事業（20,785,664円）※佐賀市補助事業

◆年間の利用者数（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	18,057	1,125	19,182	
女	11,364	104	11,468	
合計	29,421	1,229	30,650	104.6

◆佐賀市平松清風大学（開講日：火曜日ただし8月は休み）

長寿社会の中で、高齢者が積極的に学習に取り組むことで、生きがいを見つけ生活をより充実させることや、地域社会の活動に貢献できる人材を育成することを目的として実施した。

学生数 96名（1年生50名 2年生46名）

入学式 令和5年4月11日

卒業証書授与 令和6年3月5日

講義 一般教養、郷土史、健康、園芸、企画学習（グループ討議、自主企画授業）、1・2年生交流授業

講義数 1年生37回、2年生37回

学生活動 「文集ひらまつ」及び「学校新聞せいふう」の発行、運動会、ボランティア活動

クラブ活動 園芸、絵手紙、マージャン、歩こう会

② 巨勢老人福祉センター（いきがい館巨勢）事業（18,464,007円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	7,707	196	7,903	
女	9,265	259	9,524	
合計	16,972	455	17,427	59.9

◆巨勢シルバーカレッジ（開講日：原則、第1・第3木曜日）

高齢者が様々な分野の学習に取り組むことにより、いきがいや暮らしの質を高める能力を身につけ

るとともに地域社会に貢献できる人材を育成することを目標に開設した。

学生数 43名（1年制）
 入学式 令和5年4月20日
 講義 一般教養、郷土史、園芸、健康づくり等
 講義数 20回
 修了式 令和6年3月21日

③ 開成老人福祉センター（いきがい館開成）事業（15,980,098円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1日平均
男	5,690	0	5,690	
女	3,413	0	3,413	
合計	9,103	0	9,103	31.2

④ 大和老人福祉センター（いきがい館大和）事業（15,875,800円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1日平均
男	1,693	282	1,975	
女	3,124	647	3,771	
合計	4,817	929	5,746	19.7

◆大和いきがい文化講座（開講日：原則、第3水曜日）

高齢者に開かれた身近な生涯学習の場として、教養や社会参加する資質を高め、自分らしくいきいきとした生活、地域貢献できる人材の育成を目的に高齢者教養講座を開講した。

学生数 30名（1年制）
 開講式 令和5年4月19日
 講義 ヨガによる健康づくり、郷土史、救急法等
 講義数 16回
 修了式 令和6年3月13日

2 金立いこいの家事業

① 金立いこいの家（いきがい館金立）事業（15,446,315円）※佐賀市委託

◆年間利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1日平均
男	1,379	112	1,491	
女	4,131	109	4,240	
合計	5,510	221	5,731	19.7

◆金立いこいの家文化講座（開講日：原則として第4金曜日）

講座の機会を設けることにより、受講者がより知識を深め、生きがいを見出し、地域社会に貢献できる高齢者を養成することを目的に開設した。

学生数 36名（1年制）
 開講式 令和5年4月28日
 講義 一般教養、健康づくり、園芸、郷土史等
 講義数 16回
 修了式 令和6年3月1日

Ⅲ. 介護保険等事業拠点区分（22,407,722円）

1 通所介護事業

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション・口腔ケア・運動・趣味の活動等を通し

て個別支援に努めたサービスを提供した。

① 開成デイサービスセンター事業 (22,407,722円)

実施日数(日)	延利用者数(名)	1日平均(名)	
255	3,229	12.6	

IV. 認可外保育施設運営拠点区分

1 松梅保育所運営事業

① 松梅保育所運営事業 (18,635,752円) ※佐賀市委託

松梅地区唯一の保育施設として、保育所保育指針に基づき、子どもの発達過程を踏まえた育ちを支援することを柱とした事業を計画し、子どもの穏やかな成長を支えた。

開所日数(日)	利用者(名)	
	保育児	1日平均
268	3,385	13

○保育事業

○地域住民・児童生徒との交流事業

農業体験・夏祭り・作品展・校区体育祭・合同餅つき会・防災活動・フリーマーケット

V. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力(佐賀県共同募金会佐賀市支会)

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

① 赤い羽根共同募金

「たすけあい つながるやさしさ 赤い羽根」をメインテーマに、10月1日から12月31日までの3ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。

(単位:円)

種別	戸別募金	法人募金	街頭募金	学校募金	職域(資材)	その他	合計
佐賀市支会	15,174,455	4,065,557	150,492	206,491	2,106,762	221,571	21,925,328
県共募扱	0	0	0	40,307	12,116	105,704	158,127
合計	15,174,455	4,065,557	150,492	246,798	2,118,878	327,275	22,083,455

※職域(資材)は募金額のみ計上

② 歳末たすけあい募金

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、12月1日から12月31日までの1ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(単位:円)

種別	戸別募金	その他	合計
佐賀市支会	6,024,983	257,198	6,282,181
県共募扱	0	1,208	1,208
合計	6,024,983	258,406	6,283,389

2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため会員募集に努めた。

会費実績：19,318,749円

① 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる救急法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

○2023赤十字運動月間「防災セミナー」（コロナ感染症拡大予防のため中止）

○講習への講師(指導員)派遣調整 ※県支部より派遣

救急法：1ヶ所

② 防災・減災活動等への取り組みに対する助成

校区自治会及び自主防災組織等が、防災・減災意識の高揚を目的に実施する防災・減災活動及び研修会、講習会等に対して助成金を交付し、地域における日本赤十字社活動の普及と誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図った。

助成金交付：実績なし。

③ 災害義援金（救援金）の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

○ウクライナ人道危機救援金 252,151円

○2023トルコ・シリア地震災害救援金 84,228円

○令和5年能登地方地震災害義援金 1,587円

○令和5年7月7日からの大雨災害義援金(佐賀県) 89,729円

○令和6年能登半島地震災害義援金 2,388,214円

○令和6年能登半島地震災害義援金(石川県) 30,000円

④ 火事等の罹災世帯への援助

市民で住宅火災により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、見舞金や毛布、日用品等の物資を支給することで、自力更生を支援した。

世帯数(人数)	緊急セット	毛布	バスタオル	見舞金(円)
9世帯(17人)	10	17	17	90,000

また、令和5年7月に発生した大雨災害による罹災世帯に対する見舞品の支給も行い、自力更生の支援を行った。

世帯数(人数)	緊急セット	毛布	バスタオル
6世帯(11人)	6	11	11

⑤ 九州八県連合赤十字大会(佐賀県大会)への参加

佐賀県佐賀市において開催された本大会に、自治会長会の協力を得て参加した。佐賀市自治会長会より81名、佐賀市地区職員5名